



地域ブロック情報



日本社会福祉学会には7つの地域ブロックがあり、それぞれに特徴的な活動が展開されています。今号では、中国・四国地域ブロックおよび九州地域ブロックの活動についてご紹介いたします。

中国・四国地域ブロックから

中国・四国地域ブロック担当理事
山本 浩史(新見公立大学)

中国・四国地域ブロックは岡山県・広島県・山口県・島根県・鳥取県の山陽・山陰エリアと香川県・徳島県・高知県・愛媛県の四国4県で構成されています。このように県を並べてみれば、それぞれ特色のある地域が並んでいるようにも見えます。日本海から瀬戸内海、そして太平洋と縦に貫いていることから味わえる海の幸、果物では、みかん、桃、マスカット、ピオーネ、観光地で見れば、後楽園、美観地区、美作三湯、宮島、鞆の浦、湯田温泉、萩・津和野、SLやまぐち号、皆生温泉、玉造温泉、鬼太郎ロード、宍道湖、出雲大社、鳥取砂丘、大山、瀬戸大橋、琴平、栗林公園、四十八カ所、道後温泉、大歩危・小歩危、室戸岬、足摺岬、桂浜、鳴門の渦潮。そして、お好み焼き、ホルモンうどん、エビめし、さぬきうどん、出雲蕎麦、鯛茶漬、皿鉢料理、くじら、フグ、カニ・・・(個人的な趣味で並べているように見えてきましたが・・・)。

皆さんは、この中で行かれた場所や召し上がったものがありますか。コロナ禍ですが、是非、足をお運びくださればと思います。

このように魅力あるところが多くある地域ですが、同時に離島や中山間地域ならではの課題も山積しています。そして、これまで福祉の範疇になかった生活課題が地域福祉課題になってきているようにも思います。例えば、人口減少対策、限界集落、公共交通機関の存続問題や空き家問題、鳥獣被害対策・・・これらの課題が、地域住民の共通課題として認識され、地域福祉の推進機関である社会福祉協議会も関与している状況になってきています。地域福祉課題の範疇が拡大してきているようにも思えます。

次年度の第54回ブロック大会では、「地域における包括的な支援体制作り」をテーマに、島根大学での開催を予定しています。ブロックとしては、これまで、中国・四国地域の福祉課題研究や福祉人材と外国人労働者をテーマに特別研究として取り組んできました。次の特別研究のテーマは選定中ですが、今後も、ブロック会員の交流を深めながら特別研究に取り組んでいきたいと思っています。

九州地域ブロックから

九州地域ブロック担当理事
片岡 靖子(久留米大学)

日本社会福祉学会の九州地域ブロックは、本年度は長崎国際大学第63回研究大会、新年度の7月8日～9日には筑紫女学園大学で第64回研究大会の開催を予定しています。

本ブロックは、九州熊本の地から、大先輩の方々が研究会を積み重ねたことから九州地域ブロックである九州社会福祉学会の歴史が始まっています。その歴史を受け継ぎ、第64回の研究大会を迎えることとなりました。

当時の先輩方のご活躍はさまざまありましたが、当時としては画期的な活動として、デンマークの子ども向けの福祉冊子を参考に、熊本市の福祉課と教育委員会に交渉し、小学生向けの『福祉副読本』(1955年)を8万部作成し、熊本市の小学1年生へ無償配布しました。また、「ボランティアとは何か」といった冊子の作成、児童公園の全国調査をとおして子どもの環境面への働きかけなど、福祉の啓発や社会改革を目指した活発な研究と活動が行われていました。研究会から九州社会福祉学会の始まりのきっかけとなったのが、第13回日本社会福祉学会の全国大会の開催(於、熊本短期大学)です。(岡本民夫先生へのインタビュー内容から)

九州の地で、斬新で、先駆的な研究および活動をされていた先輩方のご活躍が、現在の日本社会福祉学会九州地域ブロックの現在の活動へとつながっています。

現在の九州地域ブロックの会員は、約440名となっており、福岡県、大分県、佐賀県、熊本県、長崎県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県の8県の会員で組織されています。

基幹となる活動は、年1回の研究大会の開催と『九州社会福祉学』の機関誌の発行です。特に、『九州社会福祉学』の発行は、新年度には第20号の発行を迎えることとなり、先輩方の九州社会福祉学会の歴史を継承していくための特集号を発行する予定です。また、九州地域ブロックは、若手研究者の育成を掲げており、その活動の一つとして「21世紀の現代社会福祉用語辞典」(九州社会福祉研究会編)も出版しています。

改めて大先輩方々のこれまでのご活躍を振り返ることで、先輩方の意志を受け継いでいく重みを感じております。私たちは、現場に足を運び、声を聴き、研究活動と実践の両輪で、社会に地域に貢献できる研究活動を展開していかねばならないことを痛感しました。

今後の九州地域ブロックの課題としては、臨床現場との更なる交流と研究活動の活性化であると考えています。そのためには、地域に開かれた研究大会の開催、臨床現場が必要としているさまざまなシンポジウムの開催などが考えられます。

2023年3月11日(土)に、九州地域ブロック主催による第19回日本社会福祉学会フォーラムをオンラインで開催いたします。テーマは、「『地域共生社会を問う』-共生の実現に向けた社会福祉実践から-」となります。基調講演には、伊奈川秀和先生(東洋大学社会学部社会福祉学科教授)をお迎えするとともに、福岡県内で活躍されている福祉現場のシンポジストから実践報告を頂く予定です。多くの方々にご参加いただきますようお願いいたします。